



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 株式会社 浅沼組 上場取引所 東・大
 コード番号 1852 URL http://www.asanuma.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅沼 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 本社経理部長 (氏名) 八木 良道 (TEL) 06(6768)5222
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	94,696	13.7	△6,033	—	△6,172	—	△6,600	—
23年3月期第3四半期	83,308	△21.5	△371	—	△727	—	△1,285	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △6,499百万円(—%) 23年3月期第3四半期 △1,641百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△86 72	—
23年3月期第3四半期	△16 88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	116,674	13,092	11.2
23年3月期	125,878	19,744	15.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 13,037百万円 23年3月期 19,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	2 00	2 00
24年3月期	—	—	—		
24年3月期(予想)				0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,700	14.4	△2,540	—	△2,790	—	△3,460	—	△45 46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	77,386,293株	23年3月期	77,386,293株
24年3月期3Q	1,274,385株	23年3月期	1,270,197株
24年3月期3Q	76,114,012株	23年3月期3Q	76,122,931株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
4. 補足情報	P. 7
四半期個別受注の概況	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響もあり、依然として厳しい状況で推移しております。企業の生産や設備投資に一部回復の兆しが見られましたが、企業収益の現状や業況判断の低下、雇用情勢の厳しさ、デフレの継続、加えてタイの洪水被害、および欧州の不安定な財政問題等を背景に予断を許さぬ厳しい状況が続いております。

当社グループの主たる事業である建設業界につきましては、公共投資は依然低水準ではありますが、補正予算等の効果もあり底堅く推移しております。また、民間建設投資につきましては、設備投資は下げ止まりつつあるものの、企業の業況判断は依然慎重な見方で推移しております。住宅建設につきましては、引き続き首都圏を中心に持ち直しの動きが継続しております。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は845億9千8百万円で前年同期比3.3%の減少となりました。また、売上高は946億9千6百万円で前年同期比13.7%の増加となりましたが、売上総損益は10億5千5百万円の損失（前年同期利益48億2千6百万円）となりました。

営業損益につきましては60億3千3百万円の損失（前年同期損失3億7千1百万円）となりました。

経常損益につきましては61億7千2百万円の損失（前年同期損失7億2千7百万円）となりました。

四半期純損益につきましては66億円の損失（前年同期損失12億8千5百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建 築)

受注高は735億7千3百万円（前年同期比1.9%減）、売上高は797億5千3百万円（前年同期比17.2%増）となり、セグメント損失は18億9千1百万円（前年同期利益37億5千万円）となりました。

(土 木)

受注高は110億2千4百万円（前年同期比11.6%減）、売上高は120億6千3百万円（前年同期比13.0%減）となり、セグメント利益は3億1千7百万円（前年同期比59.1%減）となりました。

また、「その他」の事業については、売上高28億7千9百万円（前年同期比102.6%増）、セグメント利益3億6千万円（前年同期比125.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資 産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて8.8%減少し、959億2千4百万円となりました。これは、工事代金の回収が進み受取手形・完成工事未収入金等が26億7千9百万円減少したことなどによります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、207億4千9百万円となりました。これは、土地・建物の売却等により有形固定資産が3億3千2百万円減少したものの、投資その他の資産が4億1千3百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて7.3%減少し、1,166億7千4百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて5.1%減少し、853億1千4百万円となりました。これは、未成工事受入金が31億8千3百万円増加したものの、支払手形・工事未払金等が58億7千3百万円、短期借入金が29億2百万円減少したことなどによります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて12.2%増加し、182億6千7百万円となりました。これは、長期借入金が23億7千3百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて2.4%減少し、1,035億8千1百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて33.7%減少し、130億9千2百万円となりました。これは、利益剰余金が67億5千3百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の建設市場の見通しといたしましては、公共投資につきましては補正予算による押し上げ効果が見込まれています。民間投資につきましては、住宅建設は引き続き首都圏を中心に持ち直しの動きが期待されます。また、企業の設備投資は、東日本大震災からの復旧需要が見込まれることから、幾分かの持ち直しが期待されます。しかし、雇用・所得環境や海外経済の先行き等、注視が必要です。

当社グループといたしましては、このような経営環境のなか、平成24年3月期の通期予想に関しましては、平成23年11月2日に下方修正を発表いたしました。工事採算の更なる悪化による本第3四半期決算の結果を踏まえ、現在精査を行っており、確定次第速やかに公表いたします。また、来期からの早期業績回復を実現させるため、中長期的な経営改善計画の策定を進めており、完成次第お知らせいたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	25,684	20,096
受取手形・完成工事未収入金等	61,658	58,978
未成工事支出金	12,863	13,695
その他のたな卸資産	1,034	865
その他	4,675	2,548
貸倒引当金	△748	△261
流動資産合計	105,166	95,924
固定資産		
有形固定資産	12,586	12,253
無形固定資産	457	413
投資その他の資産		
その他	8,877	8,960
貸倒引当金	△1,209	△878
投資その他の資産合計	7,668	8,082
固定資産合計	20,712	20,749
資産合計	125,878	116,674
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	32,326	26,453
短期借入金	27,312	24,409
未払金	15,053	14,235
未成工事受入金	7,492	10,676
完成工事補償引当金	599	765
賞与引当金	322	81
工事損失引当金	914	3,130
その他	5,836	5,562
流動負債合計	89,858	85,314
固定負債		
長期借入金	7,907	10,280
退職給付引当金	3,619	3,983
その他	4,748	4,003
固定負債合計	16,275	18,267
負債合計	106,134	103,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,419	8,419
資本剰余金	4,641	4,641
利益剰余金	6,316	△436
自己株式	△135	△135
株主資本合計	19,241	12,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	468	549
その他の包括利益累計額合計	468	549
少数株主持分	35	54
純資産合計	19,744	13,092
負債純資産合計	125,878	116,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高		
完成工事高	81,887	91,816
その他の事業売上高	1,421	2,879
売上高合計	83,308	94,696
売上原価		
完成工事原価	77,360	93,391
その他の事業売上原価	1,121	2,360
売上原価合計	78,482	95,751
売上総利益		
完成工事総利益又は完成工事総損失(△)	4,526	△1,574
その他の事業総利益	299	518
売上総利益又は売上総損失(△)	4,826	△1,055
販売費及び一般管理費	5,197	4,978
営業損失(△)	△371	△6,033
営業外収益		
受取利息	155	251
受取配当金	88	99
その他	20	66
営業外収益合計	264	418
営業外費用		
支払利息	545	486
その他	73	70
営業外費用合計	619	556
経常損失(△)	△727	△6,172
特別利益		
固定資産売却益	6	252
その他	903	45
特別利益合計	910	297
特別損失		
投資有価証券評価損	0	177
減損損失	438	120
特定工事損失額	—	359
その他	889	65
特別損失合計	1,329	723
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,146	△6,598
法人税、住民税及び事業税	125	127
法人税等調整額	△5	△143
法人税等合計	119	△16
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,266	△6,581
少数株主利益	18	19
四半期純損失(△)	△1,285	△6,600

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,266	△6,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△375	81
その他の包括利益合計	△375	81
四半期包括利益	△1,641	△6,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,660	△6,519
少数株主に係る四半期包括利益	18	19

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

四半期個別受注の概況

① 個別受注実績

	受注高	
24年3月期第3四半期累計期間	84,463百万円	△3.2%
23年3月期第3四半期累計期間	87,255	△4.3

(注)%表示は、前年同四半期比増減率を示す。

(参考)受注実績内訳

区 分	平成23年3月期 第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		平成24年3月期 第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		比較増減			
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)		
建 設 事 業	建 築	官 庁	6,473	7.4	11,756	13.9	5,282	81.6
		民 間	68,314	78.3	61,682	73.0	△6,632	△9.7
		計	74,788	85.7	73,438	86.9	△1,349	△1.8
	土 木	官 庁	7,335	8.4	7,599	9.0	264	3.6
		民 間	5,131	5.9	3,425	4.1	△1,705	△33.2
		計	12,466	14.3	11,024	13.1	△1,441	△11.6
	合 計	官 庁	13,809	15.8	19,355	22.9	5,546	40.2
		民 間	73,445	84.2	65,107	77.1	△8,337	△11.4
		計	87,255	100	84,463	100	△2,791	△3.2

② 個別受注予想

	受注高	
24年3月期予想	127,000百万円	△4.3%
23年3月期実績	132,757	△2.1

(注)%表示は、前年同期比増減率を示す。

[個別受注実績に関する定性的情報]

第3四半期累計期間の個別受注実績は、前年同期比3.2%減の844億6千3百万円となりました。部門別では、建築、土木ともに官庁が増加したものの、民間が減少となりました。